

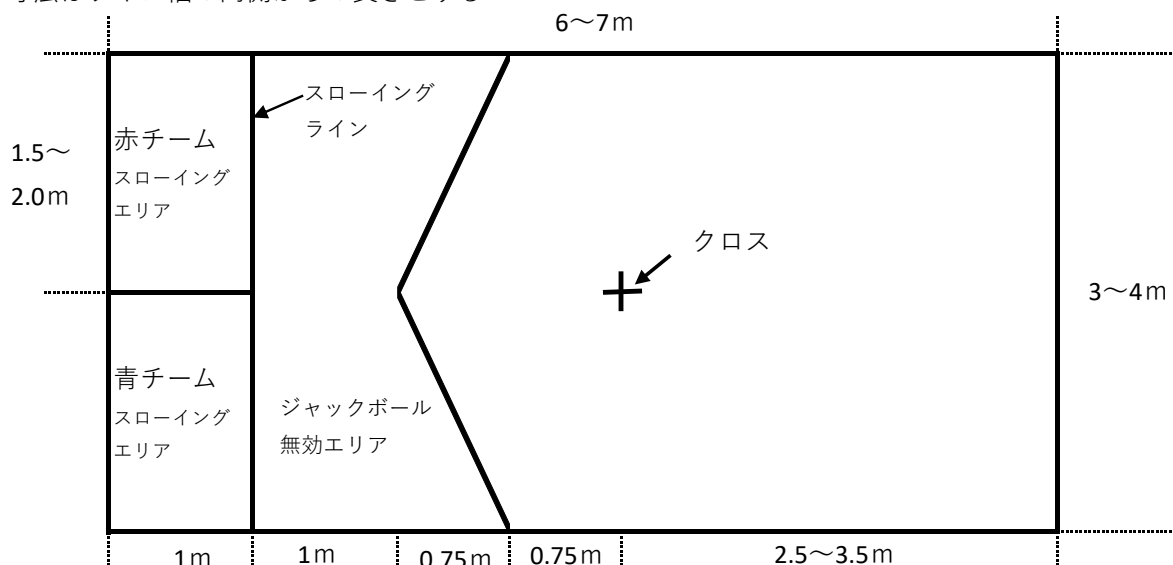
# レクリエーションボッチャ競技規則（東郷町社会福祉協議会主催行事）

2024.2.28

## 1. コートとボール

(1) コートのサイズは下記図の通りとする。

各寸法はライン幅の内側からの長さとする



(2) ラインの幅は5mm~50mmとする。

(3) ボールの1セットは赤ボール6個、青ボール6個、白ジャックボールが1個である。

マイボールの使用も認める。ただし、審判に申し出る事。

## 2. ゲーム方式

(1) チーム構成は3名1組とする。

4名以上エントリーする場合は選手交代を認める。その場合は審判に申し出る。

(2) 競技は2エンド又は4エンドで行う。

(3) 投球はエンド毎に1人2球行う。チーム内の投球順は規制しない。

(4) 競技者はゲーム中の投球時はスローイングエリアから出ない。

## 3. 勝敗

(1) 各エンドを加算し、合計点が多いチームの勝ちとする。同点の場合は、タイブレイクにより決定する。

(2) タイブレイクはジャックボールをクロスに置き、チームの代表者によるジャンケンの勝者が先攻・後攻の選択ができる。投球は1人1投とし、投球者全員が投げ終わった時点でジャックボールが一番近いチームの勝ちとする。

決着がつくまで繰り返す。

#### 4. ゲームの展開

- (1) 各チームの代表者のジャンケンにより勝者が先攻（赤ボール）・後攻（青ボール）を選択する。
- (2) 1エンドは赤の1番の人がジャックボールを投げる。続けて同じ人が赤ボールを投げる。  
ジャックボールが無効の場合は青の1番がジャックボールを投げる。  
※ジャックボールが無効とは、ジャックボール無効エリアに止まった場合、コートラインにかかるか外に出してしまった場合。
- (3) 赤1番、青1番と投げたら、以下はジャックボールに遠い位置にあるチームが投げる。  
※2球以上の異なる色のボールがジャックボールから等距離にある場合は、最後に投げたチームが投球する。等距離が崩れるまでは交互に投球する。
- (4) 投球はスローイングエリアの中であれば、どこから投げても良い。
- (5) 以下の場合はファールとする。
  - a. ラインを超える、もしくは踏んで投げた場合。
  - b. 審判の指示が出る前に投げた場合。  
※1度目は注意とし、ファールとしない。  
※ファールとなったボールは所定の場所に置く。
- (6) 投げたボールや、当てられたボールがコートラインにかかるか、外に出た場合は無効になり所定の場所に置く。  
ジャックボールに当たり、ラインにかかるか外に出た場合は、ジャックボールをクロスの位置に移す。
- (7) 両チームがすべてのボールを投げ終わったら、得点をつける。得点はジャックボールに一番近くに赤ボールがある場合は、ジャックボールに最も近い青ボールの内側にある赤ボールの数が得点となる。3個あれば3対0で赤の勝利。  
赤と青のジャックボールに一番近いボールが同距離であれば1対1の引き分けとする。
- (8) 審判がジャックボールを取り上げた時点でエンドが終了する。  
審判の得点発表後、異議ある場合はジャックボールを取り上げる前に手を挙げ申し出る。
- (9) 1エンドが終わったら2エンドは青チームが先攻となる。

以上

